

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月10日

計画の名称	登別市津波避難対策事業（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和08年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	登別市												
計画の目標	北海道が令和3年7月に公表した津波浸水想定によると、登別市において、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴い発生する最大クラスの津波が、最大津波高12.0m、津波到達時間は最短で39分と想定されており、また、北海道が令和4年7月に公表した市町村別の被害想定によると、本市の被害想定は、冬の深夜に地震が発生した場合、津波による死者数が約20,000人という結果が示されたことから、津波避難施設や避難経路などの整備、避難訓練や避難要領の周知などソフトとハードが一体となった総合的な対策を迅速に展開する必要がある。 そのため、現在指定されている津波避難場所への避難経路を整備し、避難体制の確立を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6当初)	中間目標値 (R7末)	最終目標値 (R8末)
1	津波避難路の整備により避難困難者の解消を図る。 中央地区における津波避難困難者の解消率の増加 地区内津波避難困難者解消数 / 地区内津波避難困難者数	0%	0%	33%
2	津波避難路の整備により避難困難者の解消を図る。 富岸・青葉地区における津波避難困難者の解消率の増加 地区内津波避難困難者解消数 / 地区内津波避難困難者数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	登別市	直接	登別市	-	-	地区公共施設等整備 (中央地区)	千歳8号線(L=105.6m)	登別市						35		未策定
	A13-002	都市防災	一般	登別市	直接	登別市	-	-	地区公共施設等整備 (富岸・青葉地区)	富士若山路線(L=110m)	登別市						25		未策定
											小計						60		
											合計						60		